



インスピレーションになるう

帯広西ロータリークラブ

会報

第2248回例会

2018.11.1



■RI第2500地区テーマ■

行動するロータリー、つながるロータリー
～ロータリーの未来を考えよう～



■クラブ・テーマ■

常識を疑い、可能性に挑戦する

ゲスト紹介

RI第2500地区社会奉仕委員会
十勝バス(株)

代表取締役社長 野村 文吾 様

佐藤 聡 会長



乾杯

中川芳明 職業奉仕委員長

11月に入り、旧暦でいうと霜月になります。だんだん寒くなり、霜もおりてくるということですが。



佐藤会長年度から誕生日を優先的にとということで、誕生日の会員の皆様おめでとうございます。また結婚祝いの会員皆様おめでとうございます。

また個人的には今日、自分の3軒目の薬局も新規オープンとなりました。公康君のオファーを喜んで受けまして、スピーチさせていただきます。今後ともよろしく願い致します。

それでは、今日誕生日の会員の皆様、またご結婚の会員の皆様のご健勝とご発展を祈念致しまして乾杯したいと思います。

11月誕生日

林 文昭 会員 1947.11.22
茨木 雅敏 会員 1951.11.25
若林 剛 会員 1956.11.19
太田 豊 会員 1961.11.22
辻田 茂生 会員 1962.11.10
菊池 俊博 会員 1973.11.10

深澤知博 会員



11月結婚祝

渡部 省一 会員 1972.11.25
深澤 知博 会員 1983.11. 3
石原 英樹 会員 1984.11. 3
松田 貴史 会員 1994.11.22
小野寺智樹 会員 2012.11. 3

会長報告

佐藤 聡 会長

皆様こんにちは。

11月はロータリー財団月間となっております。財団の詳細に関しては、ロータリー財団委員長の担当例会にお願いすることにして、今年度は帯広市内5クラブの合同事業として「ポリオ撲滅キャンペーン」を実施することになりました。

期間は11月20日～27日までの一週間、場所は帯広市役所1階ホールです。パネルの掲示やワクチン投与の動画放映及び署名活動を行いますので、是非お立ち寄り頂き署名活動へのご協力をお願い申し上げます。

先週の例会で帯広西ロータリークラブの出席率の高



会長 佐藤 聡 副会長 内海 仁司 会場監督理事 田中 耕吾 発行：広報委員会
幹事 小谷 典之 副会長 渡部 省一 プログラム委員会理事 谷脇 正人 委員長 菊池 俊博 (副)松田 貴史



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

さや強靱な結束力の源として各種同好会の存在が重要な役割を果たしていることが報告されました。銘酒会・テニス同好会・ゴルフ同好会・麻雀同好会の各幹事から登録会員数や活動状況が詳細に語られ、それぞれの楽しさを十分に感じ取ることが出来ました。今後は奥様方の参加人数も更に増やしロータリー活動へのご理解を深め益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

さて、本日の例会は帯広ロータリークラブ会員でもあります「奇跡の黄色いバス」の野村文吾会員をお迎えし卓話をして頂きます。

野村社長とは農水省がインバウンド対策として進めている「食と農の観光地」十勝協議会で一緒に活動させて頂いております。この「食と農の観光地」の認定に関しては全国44カ所から応募があり最終的に5カ所が認定されました。この十勝の他に岩手県の一関・平泉、山形県の鶴岡、岐阜県の馬瀬、徳島県のにし阿波地域が認定されています。食だけではなく観光だけでもない、新たな地域ブランドイメージを作り上げるために食と観光を融合させ移動人口でも稼げる地域づくりを目指しています。そんな活動を進める上での考え方や課題について興味深いお話が聞けるとお思いますので楽しみにして下さい。私個人的には、魅力ある地域づくりはインバウンド対策だけでなく、魅力ある生活環境と職場環境作りであり定住人口増加を見据えた人口減少対策だと考えておりますので、当クラブのメンバーも他人事ではなく地域の問題だと認識して頂ければ幸いです。

という事で今週は十勝の未来という観点から「過去と未来」という言葉を紹介させていただきます。

『過去を 変えることは出来ないが
過去から 学ぶことは出来る
今やっていることが
間違いなく将来を 作り上げていく』
以上、会長報告とさせていただきます。

会務報告

小谷典之 幹事

①帯広西RC、移動例会開催のご案内

日時 11月8日(木)

午前11時50分集合

場所 カールプレックスおびひろ

(清流東2丁目13-7 TEL67-7234)

※駐車場が限られているので、なるべく乗り合わせをお願い致します。

②帯広北RC、夜間移動例会開催のご案内

日時 11月9日(金) 午後6時30分

場所 ジグザグ

③帯広南RC、夜間例会開催のご案内

日時 11月19日(月) 午後6時30分

場所 北海道ホテル

④帯広北RC、11月23日(金)の例会は、祝日のため休会と致します。

⑤帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日時 11月29日(木) 午後6時30分

場所 北海道ホテル

⑥ 例会終了後、定例理事会を開催致します。

ニコニコ献金

松本 和彦 会員

渡辺 省一 副会長

当社(株)ワタナベ車体工業お陰様で創業30年を迎えました、これからもどうぞ宜しくお願い致します。



増井 信也 社会奉仕委員長

本日、社会奉仕委員会の担当例会です、よろしくお願い致します。

中川 芳明 職業奉仕委員長

本日11月1日とかち西南薬局オープンしました、今後ともよろしくお願い致します。

伊藤 公康 親睦活動委員長

本日より、かちまいが値上がりします。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い致します。

松本 和彦 会員

ニコニコ発表させていただきます。

ニコニコ 献金	11月1日	10,000 円
	累計	253,000 円 (11月1日現在)





「人口減少時代におけるサステイナブルな『街づくり』とは」

RI第2500地区社会奉仕委員会

十勝バス(株) 代表取締役社長 野村 文吾様

皆さま改めまして、こんにちは。ただ今ご紹介いただきました帯広ロータリークラブ社会奉仕委員会委員長を務めさせていただいております野村でございます。増井委員長から過分なるご紹介をいただきましたが、なにせあの佐藤会長を率いる帯広西ロータリークラブの敷居をまたぐのは怖いなぁと思って来たんですけども、温かく迎えていただきまして誠にありがとうございました。またあの入るなり出席率の高さに大変驚いております、これがやっぱり帯広西ロータリークラブのちからなんだというふうに感じた次第であります。この地元の取り組みをさせていただいた中で、このように話す機会を得られたと思いますので、皆様に感謝を心から申し上げてこの話をさせていただきます。

帯広西ロータリークラブ例会、帯広ロータリークラブ網走西ロータリークラブ連携「人口減少時代におけるサステイナブルな『街づくり』とは」というお題で話をさせていただきます。

当社は大正15年操業の今年で92年の皆様よく存じていただいていると思うんですが、黄色いバスがメインの会社でございます。貸し切りバスもありますし、10年程前から、このジャンボタクシーでのタクシー事業、そして介護事業、いま教育事業にちからを入れた学童保育事業、そして去年生活支援サービスということで便利屋さんを始めたところでもあります。十勝19市町村中、当社は今14市町村を走らせていただいております。

私は1998年に十勝バスに戻ったんですが、実は1997年に父が当時社長をしていて、もう事業を続けられないということで、会社をたたむという決断をしました。その話を聞いて私は当時西部グループの本社に居たんですが、昔から聞かされていた事だったもんですから、その時がついに来たんだと思いを決して戻ってきました。その時に父と約束したのが、お前が全てやれ全責任をとれという事で、出社した1998年の4月1日に実印と金庫の鍵を預けられて、約束した通りお前がやれという事で私の父は会社から去って何一つ教えてくれずに苦境の日が始まりました。

潰れそうな会社ですから当然社員は荒れ果てておりま

した。会議すらできない状況でありましたし、指示命令形等は何も通らない会社でありました。そんな中私も3ヶ月もしないうちに心が折れて、実はもうダメかなぁと思っていた時にJCの仲間の後々なる同級生に会いましてですね『お前は社員を大切にしないから会社がうまくいかないんだ』と『社員を大切にしろ』『愛しろ』と言われて知ったようなこと言うなぁと思いましたが、背に腹は代えられない状況でしたのでそこに取り組んだところ、まぁ社員に宣言して本気度を見せようということで『今日からあなた達のことを大切にする』と『愛するようになるからもう少し俺のことを見ててくれ』と頼み込んで始まりました。すると部下たちに変化が表れて、その変化を見た私はもっと大切にすればもっと変化してくれるんじゃないかなぁという好循環に入る入口に立ったような気がしまして、それを繰り返してどんどん社員のことを大切にできるようになってきました。

そして、戦力的な営業強化という事で取り組んだ事ですが、まずは停留場1件1件、一つの停留場にあるご自宅を一軒一軒回って、お客様とお話をしようと思い回りました。行く家行く家ほとんどのご自宅が開けてくれるんです。話をしてくれるんです。つまり十勝バスの事は分かっていたら、信頼関係も残っていたと、であればどうして使っていただけないんだろうかと思って、直接的に聞いてみたんです。『どうしてバスに乗っていただけないんですか』そうするとこの市民の方は『う～ん』と唸って『そう言われてみるとバスに暫く乗っていないんだ』と。そのバスがどこに向かっていくか知らないんだよな。そのバスが前から乗るのか、後ろから乗るのか、もう分からなくなっちゃったんだよな。しかもバスの運賃っていくらくらいなの？という事で分からないづくしの答えが返ってきました。我々バス業界は、知ってる前提の上ですべて営業戦略うってきてたんです。でもその戦略は間違った方針の元に立てられていたという事に気づきまして会社に戻ってお客様の言われたとおりバスの乗り方をパンフレットに入れ込んで、これを持ってお客様の家を一軒一軒回って説明をしたところ、突然お客様が増えだしまして、その年20%お客様が増えました。我々は、手段役、脇

役、サポート役に徹し、路線にある施設さんをプレゼンして施設を使っただけのようにすれば、合わせてバスも使っただけになるというふうに思いまして、企画商品を作り上げました。4路線しか取り組んでいないんですが、他の十数路線はまだ取り組んでなくてマイナスでしたけども、その4路線のプラスだけで全部その他のマイナスを埋め込んで、プラスを叩き出すことができました。その後も順調に前年対比プラスを続けてきておりまして、今年で8年目で、去年の7年連続で利用者にご利用を増やしていただいているところであります。これが実は全国で初というお話があって色々なニュースや物語にさせていただいたところであります。

さて、人口減少時代におけるサステナブルな街づくりのためにということで本題に入らせていただきます。今先ほどちょっと触れましたけども地方の公共交通を取り巻く現状として一つモータリゼーションが未だに堅持されている。これはしかたの無いことだと思います。一方、利用者が減少し人口減少の影響もし始めている、これも事実だと思います。

私は意を決してですね、十勝バスが作り上げたノウハウを全て無償で他の交通事業者さんに提供しようというふうに考えまして、この十勝圏二次交通活性化推進協議会というのを立ち上げました。もちろん敵に塩を送る訳ですから社内では大反対が起きました。『社長、会社潰す気か』と、そこまで言われました。でも考えてみると、人口減少になっていったらどちらにしろ共倒れするぞと。今のままでは絶対良くない。これを打開するためには今までなかったことをやらなきゃいけないんだということで、あまり仲の良くなかった交通事業者に一軒一軒ですね頭を下げて行って、こういう思いでこういうふうにやりたいんで、ぜひやってほしいと言うふうをお願いをして頭を下げて回って、色々、国や帯広市さんや総合振興局のおちからも借りてですね、出来るようになりました。

まとめです、ちょっと大風呂敷を広げてますがお聞きいただければと思います。今は帯広ロータリークラブと網走西ロータリークラブの連携での事業です。地区補助金をいただきました地区にも出向させていただいておりますが地区の事業ではありません。本年の細川ガバナーにこのプレゼンをしましたら、『来年なんとか地区の事業になれるように頑張ってみよう』というふうに言っていただきました。もし来年2,500地区で取り組んで成果を出したとすると間違いなく2,510地区も『なんだそういうことで成果を出せるならやりましょうよ』ということで、ロータリーのおちからをお借りしてこの全土が高齢者が

いつまでも安心して住みやすい交通を維持できる街づくりが出来ていく取り組みになるんじゃないかと期待しているところであります。さらには、北海道庁がつい先日北海道交通政策総合指針計画を立ち上げてまして今回のビジネスモデルをすべて道庁の計画として推し進めようとしてご決断していただきましたので、きっと道庁もロータリーを応援してくれるという事にもニヤリイコールになるんじゃないかなというふうに思っています。さらにはこのアプリで北海道全域が繋がる、北海道の路線が見える化になれば、色々な種類のアプリもそこに相乗りしてくれるんじゃないかと、現に今GoogleさんとYahooさんが僕らのビジネスモデルを追従して取り込んでいただいてGoogleさんYahooさんその目的地から検索できるものを始めていただきました。市民にとっても旅行者にとっても我々バス事業者にとっても、アプリがいくつも乗っかることは非常に求めることでありますので、これは嬉しい限りであります。さらに、インバウンド、海外からお客様を連れてこようという為にはやっぱり海外に打って出なければならないと判断しまして、いま海外に打って出ました。そこを見ていただいたジェットロがこれを支援するという事で、今ジェットロの事業として取り組んでいるところであります。先週もシンガポールに行っていました。来月もまたシンガポールに行っていました。まずはシンガポールをこじ開けてきたいと思っています。

以上、時間をオーバーして大変申し訳ございません。以上で説明を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

